

高田浄水場運転維持管理業務（第1期） 仕様書

1 運転管理業務

1. 1 業務内容

(1) 運転操作、監視及び記録

(ア) 中央監視室における浄水施設の運転操作、監視及び記録

- a 取水量の調整による飯泉取水ポンプの運転操作、取水量の監視及び記録
 - b 原水、沈でん水、ろ過水及び浄水の水質状況の監視及び記録
 - c 浄水処理工程における凝集剤（PAC）、次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ、希硫酸、活性炭の注入率の設定及び監視
 - d ろ過流量の調整
 - e ろ過池ろ抗計の監視及びろ過池洗浄操作
 - f ポンプ井の水位監視及び記録
 - g 中央監視制御設備による久野配水池、中河原配水池の水位、配水流量の監視及び記録
 - h 久野配水池の配水量及び水位変動に応じた久野系送水ポンプの運転
 - i 中河原配水池の配水量及び水位変動に応じた中河原系送水ポンプの運転
 - j 取水量、沈でん水量及び送水量に応じたバルブ操作
 - k 取水量、送水量及び配水量の異常値の確認及び連絡
 - l 沈でん池排泥の操作
 - m 排水処理設備の監視及び記録
 - n 放流水の水質監視及び記録
 - o I T V設備（監視カメラ）による魚類監視
- (イ) 現場操作盤における運転操作及び巡視点検等
- a 薬品注入設備の運転操作及び巡視点検
 - b 特別高圧設備の巡視点検及び記録
 - c 受変電設備、計装設備の巡視点検及び記録
 - d 活性炭注入設備の巡視点検及び配管洗浄
 - e 薬品の在庫管理及び受入立会（並塩においては運搬と溶解槽への投入を含む）
 - f 次亜塩素酸ナトリウムの有効塩素濃度の測定（受入と受入前の貯蔵槽）
 - g 残留塩素計の有試薬調合及び薬液タンクへの移送操作
 - h その他関連施設（設備）の運転操作、監視及び巡視点検

(2) 排水処理施設の運転監視業務

(ア) 運転操作、監視及び巡視点検

- a 排水池、排泥池、排水溜の運転管理、監視及び巡視点検
- b 汚泥調整池の運転管理、監視及び巡視点検
- c 汚泥脱水機及び関連機器の運転管理、監視及び巡視点検
- d 脱水ケーキ管理（搬出調整含む）

(3) 設備切替作業

予備設備があるものについては、定期に設備切替えを実施すること。なお、異常等が発生した場合にも同様に実施すること。

(4) 工事等の作業に伴う各施設（設備）の運転操作

(ア) 本市が実施する工事及び点検、または直営作業等による関連施設（設備）の運転操作

(5) 電気事故、停電及び水質異常等への対応

(ア) 事故発生時の報告及び指示事項への対応

(イ) 電力給側の事故及び高田浄水場受電設備事故等による特別高圧送電線切替作業

(6) 連絡調整

(ア) 本市との定期又は臨時の打ち合わせの実施

定期打合せを土曜日、日曜日及び祝日並びに12月29日から1月3日までの日を除いた日（以下「平日」という。）の8時30分から8時45分まで及び17時00分から17時15分までの間に、本市職員（上下水道局浄水管理課）と行う。

(イ) 神奈川県内広域水道企業団飯泉取水管理事務所及び関係諸機関との連絡調整並びに本市への報告

(ウ) 施設（設備）の異常発生時及び場内不審者侵入時等の本市への報告

(7) その他

(1) から (6) までに附帯する各種業務及び管理上必要となる業務

1. 2 留意事項

(1) 要求水準書に記載されている高田浄水場の運転管理業務（第2期）の留意事項に準じること。

(2) 既設の施設であるため、各種機器の機能及び性能を十分理解し、各種機器の特性に応じた運転操作を行うとともに、配水量状況により必要な設備、機械を運転し、取水量及び送水量の調整、浄水処理工程の水位等のバランス調整（水運用）を行い、安定した配水量の確保、供給に努めること。

(3) 薬品在庫量の管理については、使用量から薬品受入時期について望ましい時期と数量を1週間前に市側へ連絡すること。

(4) 薬品使用量については、使用量の削減に配慮するよう管理すること。

2 保守点検業務

2. 1 業務内容

(1) 日常点検

施設及び設備の異常の有無、徴候を見つけるために目視、触感、確認、清掃及び記録等により毎日点検を行う。なお、実施場所については、以下のとおりとする。

【実施場所】

着水井、沈でん池、ろ過池、塩素混和池、ポンプ室、特別高圧変電所、電気室、水質計器室、薬注棟、汚泥調整池、排水池、排水溜、排泥池、汚泥処理脱水機室、脱水機棟

(ア) 目視によるもの

施設及び設備全体を目視し、損傷、亀裂、漏れ、さび及び臭気、音等により正常か否かを判断すること。

(イ) 触感によるもの

機器に触れ、振動、温度等により正常か否かを判断すること。

(ウ) 確認によるもの

機器の圧力、温度、流量、電流等計器の値が正常か否かを判断すること。

（目視及び触感作業を含む）

(エ) 記録作業

点検の結果を所定の用紙に記録すること。（必要に応じてデータをもとに、機器の状態を判断する）

(2) 簡易故障修理

特殊な器具や専門知識を必要としない軽易な故障及び異常等から、機器を復帰させるための作業で、消耗品の交換部品を伴う場合は本市が用意する。

(3) 設備定期保守点検

より詳細な点検を実施する定期点検（月次、年次）を実施すること。また、グリース等

消耗品の交換を実施すること。

(4) 空調設備点検

フロン排出抑制法に基づき、対象設備の簡易点検を1回/月以上実施すること。

(5) 各種ピット内滞水点検

取水流量計、取水流量調節弁、総ろ過流量計、久野送水流量計、中河原送水流量計、中河原送水切替弁室の各ピットについて、ピット内の滞水の深さを1回/月以上測定し、必要に応じて滞水を排水し、適切に処理すること。

2. 2 留意事項

要求水準書に記載されている高田浄水場の保守点検業務（第2期）の留意事項に準拠すること。

3 水質管理業務

要求水準書に記載されている高田浄水場の運転維持管理業務（第2期）に準じて水質管理業務を実施すること。なお、浄水処理工程内の水質検査頻度については、表1のとおりとする。

表1 浄水処理工程内の水質検査頻度

(単位：検査回数/日以上)

検査項目	高田浄水場							
	原水	フロック形成池		沈でん池 中段	沈でん水	ろ過水	塩素混和水	浄水
		1槽	4槽					
水温	2	—	—	—	2	2	2	2
濁度	1	—	—	—	1	1	—	1
色度	2	—	—	—	2	2	—	2
pH値	1	—	—	1	1	1	1	1
アルカリ度	1	—	1	—	—	—	—	—
臭気	4	—	4	—	2	4	—	4
残留塩素	—	4	4	—	4	4	—	4
ジャーテスト	週1	—	—	—	—	—	—	—

注1：水質状況により事業者の判断または本市の指示で地点や頻度を増加すること。

注2：残留塩素濃度については遊離型だけでなく結合型も測定すること。

注3：急激な水質変動時には、本市の指示により上記項目以外に味、電気伝導率の測定も実施すること。

4 消耗品調達管理業務

要求水準書に記載されている高田浄水場の運転維持管理業務（第2期）に準じて消耗品調達管理業務を実施すること。

5 発生土管理及び処分業務

要求水準書に記載されている高田浄水場の運転維持管理業務（第2期）に準じて発生土管理及び処分業務を実施すること。

6 見学者対応支援業務

要求水準書に記載されている高田浄水場の運転維持管理業務（第2期）に準じて見学者対応支援業務を実施すること。

7 植栽管理及び清掃業務

要求水準書に記載されている高田浄水場の運転維持管理業務（第2期）に準じて植栽管理及び清掃業務を実施すること。

なお、第1期における事業者の清掃範囲は事業者管理範囲とし、共用部（ピロティー、玄関ホール、各階ホール、廊下、階段、3階大・小ホール、トイレ、バルコニー）と本市管理範囲（執務室、旧場長室、応接室、更衣室、給湯室、脱衣室、浴室、宿直室、水質試験室、3階書庫、旧

塩素ボンベ室)は本市が実施する。

8 池等清掃業務

各業務の詳細については、特記仕様書のとおりとする。

8. 1 ろ過池ろ過砂更生業務

ろ過池の性能維持のために、ろ過砂・砂利の更生及びろ過池躯体内部の塗装を行う業務であり、令和9年度を除き、9池あるろ過池のうち毎年1池ずつ行う。

8. 2 5 t クレーン点検業務

ポンプ室に設置してある5 t クレーンの定期自主点検を月1回行い、定荷重を含む年次点検を行う。

8. 3 排水池内部清掃業務

排水池内部の清掃を行い、底に溜まった砂等の引抜きを行う業務であり、2池ある排水池のうち毎年1池ずつ行う。

8. 4 排泥池内部清掃業務

排泥池内部の清掃を行い、底に溜まった汚泥の引抜きを行う業務であり、2年に1回行う。

8. 5 沈でん池内部清掃業務

沈でん池内部の床面、壁面の清掃を行う業務であり、3池ある沈でん池のうち毎年1池ずつ行う。

8. 6 ろ過池内部清掃業務

ろ過池内部の床面、壁面の清掃を行う業務であり、9池ある池すべてにおいて1年に2回行う。

8. 7 汚泥調整池内部清掃業務

汚泥調整池内部の床面及び汚泥掻寄機の清掃を行う業務であり、2池ある汚泥調整池のうち毎年1池ずつ行う。

8. 8 脱水機受泥槽内部清掃業務

脱水機受泥槽内部の床面、壁面の清掃を行う業務であり、年に2回行う。

9 保安業務

要求水準書に記載されている高田浄水場の運転維持管理業務(第2期)に準じて保安業務を実施すること。

10 災害、事故及び緊急時対応業務

要求水準書に記載されている高田浄水場の運転維持管理業務(第2期)に準じて災害、事故及び緊急時対応業務を実施すること。

なお、現地では市職員の指示により緊急遮断弁等の操作を実施すること。

高田浄水場運転維持管理業務（第1期）特記仕様書

1 ろ過池ろ過砂更生業務

1. 1 更生の対象

令和5年度：1号ろ過池、令和6年度：2号ろ過池、令和7年度：3号ろ過池

令和8年度：4号ろ過池、令和9年度：実施しない

1. 2 ろ過池仕様及び業務内容については以下のとおりとする。

(1) ろ過池仕様

- ・急速ろ過池（集水レオポルド式）
- ・ろ過池面積：92.48㎡
- ・ろ過能力：11,000m³/d
- ・ろ過砂及び砂利：砂（有効径0.6mm、均等係数1.4以下）層厚600mm
 - 砂利（粒径 2.0～3.7mm）層厚70mm
 - 砂利（粒径 3.7～7.0mm）層厚70mm
 - 砂利（粒径 7.0～13.0mm）層厚80mm
 - 砂利（粒径 13.0～20.0mm）層厚80mm

(2) 材料

名 称	仕 様	数 量
ろ過砂	有効径：0.6mm 均等係数：1.4以下	2.75m ³

※JWWA水道用ろ過砂試験法合格品使用のこと

(3) 更生

表1 ろ過砂等仕様の記載数量のとおりろ過砂及び砂利を、洗浄機械にて洗浄・篩い分けを行い、層厚のとおり敷き均しする。なお、ろ過砂は洗浄したものに新規2.75m³のろ過砂を加え、敷き均しする。

表1 ろ過砂等仕様

名 称	仕 様	層 厚	数 量
ろ過砂	有効径：0.6mm 均等係数：1.4以下	600mm	55.5m ³
ろ過砂利	粒径：2.0mm～3.7mm	70mm	27.75m ³
	粒径：3.7mm～7.0mm	70mm	
	粒径：7.0mm～13.0mm	80mm	
	粒径：13.0mm～20.0mm	80mm	

(4) 洗浄機械の設置

高田浄水場内に設置するが、詳細な設置場所、洗浄水、排水等は発注者と十分打ち合わせを行い、決定すること。

(5) ろ過池洗浄

ろ壁、トラフ、洗浄管、ろ床の洗浄を行う。なお、ろ壁の塗装を破損しないように注意すること。

(6) ろ床目地点検・補修

ア 概要：ろ過池のろ床約92.48㎡を点検し、レオポルドブロック集水孔の詰まり除去や目地の補修を行う。なお、レオポルドブロック集水孔の詰まりはドリル等を使用し貫通させる。

イ 補修材料：水道用エポキシ樹脂モルタル及び水道用エポキシ樹脂塗料（JWWA適合品）

(7) ろ過池躯体塗装

ア 概要：ろ過池躯体表面の塗装を行うものであり、塗装面積は約366㎡、躯体表面を清掃・ケレンし、下地調整材1回塗布、上塗り材2回塗布にて仕上げる。

イ 塗装材料：水道用エポキシ樹脂塗料（JWWA適合品）

(8) ろ材検査

ア 検査項目

付着物試験：濁度・付着物質質量・鉄・マンガン・アルミニウム・汚泥容量、凝着物試験：塩酸可溶率

イ 検査対象ろ材

施工前：表層・上層・中層・下層、各1検体ずつ全4検体

施工後：表層1検体

1. 3 提出書類

(1) 施工前後に次の書類を提出すること。

ア 施工前

- ・ 工程表
- ・ 作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）

イ 施工後

- ・ 報告書 2部
- ・ 業務日報 1部
- ・ 施工写真（施工前、施工中、施工後） 1部

1. 4 特記事項

(1) 使用材料については相当品可とする。

(2) ろ過砂・砂利洗浄は現場作業（高田浄水場）とする。

(3) 本書に記載のないもので、施工上必要となる軽易な部品等が発生した場合については発注者と受注者協議の上、対応を決定する。

1. 5 産業廃棄物処分については次のとおりとする。

本業務において発生する産業廃棄物を、法に則り適正な処理を行うこと。

(1) 対象廃棄物

- ・ 建設汚泥：約3.0t

(2) 処分方法

- ・ 法に則り適正な処理を行う。

(3) 業務範囲

- ・ 高田浄水場からの積み込みから、再生処理業者までの持ち込みとする。

(4) 提出書類

- ・ 産業廃棄物収集運搬業許可証等必要許可証の写しを提出する。
- ・ リサイクル化証明書及び処分量（売却量）の写しを提出する。

1. 6 現場において本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。

1. 7 業務に必要な仮設物は、発注者の承諾を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮をして設置すること。

1. 8 業務の遂行については、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないよう、必要な措置を講ずること。

1. 9 作業員は業務に先がけ次の5項目の検便検査成績書を提出すること。

- ・ 赤痢菌、腸チフス、パラチフス、サルモネラ、O-157

2 5 t クレーン点検業務

2. 1 クレーン仕様及び業務内容については以下のとおりとする。

(1) クレーン仕様

ア 送水ポンプ室クレーン

- ・ 吊り上げ荷重：5.08 t
- ・ クレーン形式：ホイスト式天井クレーン
- ・ ホイスト形式：三菱HB-5D-LM

(2) 業務内容

送水ポンプ室に設置してある 5 t クレーンについて、定期自主点検を月に 1 回行い、定荷重試験を含む年次点検を実施する。

ア 定期自主点検（月例点検、年次点検）

機体本体、走行装置、クレーンガード、巻上・横行機器部分、電気部分の点検

イ 定荷重試験（年次点検時のみ）

ウ 性能検査

2. 2 提出書類

(1) 施工前後に次の書類を提出すること。

ア 施工前

- ・ 工程表
- ・ 作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）

イ 施工後

- | | |
|---------------------|----|
| ・ 報告書 | 2部 |
| ・ 業務日報 | 1部 |
| ・ 施工写真（施工前、施工中、施工後） | 1部 |

2. 3 現場において、本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。

2. 4 業務に必要な仮設物は、発注者の承認を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮を講ずること。

2. 5 業務を行うにあたっては、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないように、必要な措置を講ずること。

2. 6 年次点検後、登録性能検査機関（クレーン等安全規則（昭和47年労働省令第34号）第41条第2項）による性能検査（2年に一度）立会いを行うこと。その際、定荷重試験用の錘も準備すること。

3 排水池内部清掃業務

3. 1 清掃の対象

排水池の内部清掃は、No. 1 と No. 2 を隔年で毎年実施するが、各年度における実施予定池は以下のとおりとする。

(1) 実施予定池

令和 5 年度：No. 1 排水池、令和 6 年度：No. 2 排水池、令和 7 年度：No. 1 排水池、
令和 8 年度：No. 2 排水池、令和 9 年度：No. 1 排水池

3. 2 業務内容は以下のとおりとする。

(1) 清掃方法

砂の引抜き後、底面・壁面に高圧洗浄を行う。

(2) 排水処分方法

洗浄水は浄水場内排泥池に排水すること。

(3)排砂処分方法

引抜き後の砂等は、担当者の指示に従い、適切に処分すること。

3. 3 提出書類

(1)施工前後に次の書類を提出すること。

ア 施工前

- ・工程表
- ・作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）

イ 施工後

- ・報告書 2部
- ・業務日報 1部
- ・施工写真（施工前、施工中、施工後）1部

3. 4 現場において本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。

3. 5 業務に必要な仮設物は、発注者の承認を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮をして設置すること。

3. 6 業務の遂行については、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないよう、必要な措置を講じること。

4 排泥池内部清掃業務

4. 1 清掃の対象

排泥池の内部清掃の実施年度は以下のとおりとする。

(1)予定実施年度

令和5年度、令和7年度、令和9年度

4. 2 業務内容は以下のとおりとする。

(1)清掃方法

泥塊を崩した後、底面・壁面を高圧洗浄にて清掃を行う。

(2)排水処分方法

洗浄水は浄水場内汚泥調整池に送水する。

(3)排泥処分方法

引抜き後の汚泥は、担当者の指示に従い、適切に処分すること。

4. 3 提出書類

(1)施工前後に次の書類を提出すること。

ア 施工前

- ・工程表
- ・作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）

イ 施工後

- ・報告書 2部
- ・業務日報 1部
- ・施工写真（施工前、施工中、施工後）1部

4. 4 現場において本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。

4. 5 業務に必要な仮設物は、発注者の承認を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮をして設置すること。

4. 6 業務の遂行については、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないよう、必要な措置を講じること。

5 沈でん池内部清掃業務

5. 1 清掃の対象

沈でん池の内部清掃は、3池のうち、1年に1池の清掃を実施するが、各年度における実施予定池は以下のとおりとする。

(1)実施予定池

令和5年度：2号沈でん池、令和6年度：旧1号沈でん池、令和7年度：新1号沈でん池、
令和8年度：2号沈でん池、令和9年度：新1号沈でん池

※建設工事との関係で該当池が実施できない場合は契約変更対象し、協議の上、決定する。

5. 2 業務内容は以下のとおりとする。

(1)清掃方法

沈でん水を排水溜及び排泥池にて引抜きした後、底面・壁面を高圧洗浄にて清掃を行う。

(2)排水処分方法

洗浄水は浄水場内排泥池に排水する。

(3)排泥処分方法

沈でん池内で掻寄せた汚泥は、洗浄水とともに浄水場内排泥池に送水する。

5. 3 提出書類

(1)施工前後に次の書類を提出すること。

ア 施工前

- ・工程表
- ・作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）

イ 施工後

- ・報告書 2部
- ・業務日報 1部
- ・施工写真（施工前、施工中、施工後）1部

5. 4 現場において本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。

5. 5 業務に必要な仮設物は、発注者の承認を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮をして設置すること。

5. 6 業務の遂行については、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないよう、必要な措置を講じること。

6 ろ過池内部清掃業務

6. 1 清掃の対象及び頻度

ろ過池の内部清掃は、9池あるすべての池を1年に2回の清掃を実施する。

6. 2 業務内容は以下のとおりとする。

(1)清掃方法

ろ過池を空にした後、底面・壁面を人力により清掃を行い、最後に高圧洗浄を行う。

(2)排水処分方法

洗浄水は浄水場内排水池に排水する。

6. 3 提出書類

(1) 施工前後に次の書類を提出すること。

ア 施工前

- ・ 工程表
- ・ 作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）

イ 施工後

- ・ 報告書 2部
- ・ 業務日報 1部
- ・ 施工写真（施工前、施工中、施工後） 1部

6. 4 現場において本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。

6. 5 業務に必要な仮設物は、発注者の承認を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮をして設置すること。

6. 6 業務の遂行については、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないよう、必要な措置を講じること。

7 汚泥調整池内部清掃業務

7. 1 清掃の対象

汚泥調整池の内部清掃は、No. 1 と No. 2 を隔年で毎年実施するが、各年度における実施予定池は以下のとおりとする。

(1) 実施予定池

令和 5 年度：No. 2 汚泥調整池、令和 6 年度：No. 1 汚泥調整池、令和 7 年度：No. 2 汚泥調整池、
令和 8 年度：No. 1 汚泥調整池、令和 9 年度：No. 2 汚泥調整池

7. 2 業務内容は以下のとおりとする。

(1) 清掃方法

汚泥引抜き後、底面及び汚泥掻寄機の高圧洗浄を行う。

(2) 排水処分方法

洗浄水は浄水場内脱水機受泥槽に送水する。

(3) 排泥処分方法

引抜き汚泥は、洗浄水とともに浄水場内脱水機受泥槽に送水する。

7. 3 提出書類

(1) 施工前後に次の書類を提出すること。

ア 施工前

- ・ 工程表
- ・ 作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）

イ 施工後

- ・ 報告書 2部
- ・ 業務日報 1部
- ・ 施工写真（施工前、施工中、施工後） 1部

7. 4 現場において本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。

7. 5 業務に必要な仮設物は、発注者の承認を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮をして設置すること。

7. 6 業務の遂行については、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないよう、必要な措置を講じること。
- 8 脱水機受泥槽内部清掃業務
8. 1 清掃の頻度
脱水機受泥槽の内部清掃は、毎年2回実施する。
8. 2 業務内容は以下のとおりとする。
- (1) 清掃方法
汚泥引抜き後、受泥槽内部の床面・壁面の清掃を高圧洗浄にて行う。
- (2) 排水処分方法
洗浄水は浄水場内排泥池に排水する。
8. 3 提出書類
- (1) 施工前後に次の書類を提出すること。
- ア 施工前
- ・ 工程表
 - ・ 作業員名簿（下請け業者を含めた作業員の氏名、住所を記入したもの）
- イ 施工後
- ・ 報告書 2部
 - ・ 業務日報 1部
 - ・ 施工写真（施工前、施工中、施工後） 1部
8. 4 現場において本市構造物等を損傷した場合は、受注者の費用で速やかに復旧すること。
8. 5 業務に必要な仮設物は、発注者の承認を受け、事故防止に必要な処置をとり、交通の妨げとならないように十分な配慮をして設置すること。
8. 6 業務の遂行については、常に作業員の安全及び災害防止等に遺漏のないよう、必要な措置を講じること。

高田浄水場の運転維持管理業務一覧

<第一期>

再整備前高田浄水場

業務項目	業務頻度	委託範囲	直営範囲
運転管理業務	通年	○	—
保守点検業務(構造物点検)	毎日	○	—
保守点検業務(浄水場点検)			
日常点検	毎日	○	—
定期点検	毎月・毎年	○	—
簡易故障修理	適宜	○	—
自家用電気工作物点検(年次)	1回／年	—	○
薬注設備点検(メーカー点検)	1回／年	—	○
水質計器点検(メーカー点検)	1回／年	—	○
流量計点検(メーカー点検)	1回／3年	—	○
中央監視設備点検(メーカー点検)	1回／3年	—	○
テレメーター点検(メーカー点検)	1回／3年	—	○
消防設備点検(法定)	2回／年	—	○
建築設備点検(法定)	なし	—	—
空調設備点検(法定・簡易)	1回／月	○	—
空調設備点検(法定・定期)	1回／3年	—	○
その他事業者提案の点検	事業者提案による	○	—
水質管理業務			
法定外検査	通年(定期)	○	—
処理工程管理	毎日 他	○	—
修繕業務			
計画修繕	通年(定期)	—	○
計画外修繕(整備範囲)	なし	—	—
計画外修繕(整備範囲外)	適宜	—	○
膜交換及び膜洗浄業務	なし	—	—
消耗品調達管理業務	適宜	—	○
薬品調達管理業務	適宜	—(受入立会は別途)	○
電力調達管理業務	毎日	—	○
熱水燃料等の調達管理業務	事業者提案による	○	—
発生土管理及び処分業務	適宜	○	—
見学者対応業務	適宜	○(説明等)	○(受付)
植栽管理及び清掃業務			
植栽管理	事業者提案による	○	—
既設管理棟清掃(事業者管理範囲)	事業者提案による	○	—
既設管理棟清掃(共用部・市管理範囲)	通年(定期)	—	○
その他場内施設清掃	事業者提案による	○	—
池等清掃業務			
特記仕様書範囲	特記仕様書による	○	—
その他池清掃(事業者範囲外)	不定期	—	○
保安業務	毎日	○	—
災害、事故及び緊急時対応業務	発生時	○	△※1

※1 業務範囲を超える部分は本市範囲とする

<第二期>

再整備後高田浄水場

業務項目	業務頻度	委託範囲	直営範囲
運転管理業務	通年	○	—
保守点検業務(構造物点検)	事業者提案による	○	—
保守点検業務(浄水場点検)			
日常点検	毎日	○	—
定期点検	毎月・毎年	○	—
簡易故障修理	適宜	○(計画外修繕)	—
自家用電気工作物点検 ※1	事業者提案による	○	—
薬注設備点検(メーカー点検)	事業者提案による	○	—
水質計器点検(メーカー点検)	事業者提案による	○	—
流量計点検(メーカー点検)	事業者提案による	○	—
中央監視設備点検(メーカー点検)	事業者提案による	○	—
テレメーター点検(メーカー点検)	1回／3年	—	○
消防設備点検(法定)	事業者提案による	○	—
建築設備点検(法定)	事業者提案による	○	—
空調設備点検(法定・簡易)	事業者提案による	○	—
空調設備点検(法定・定期)	事業者提案による	○	—
その他事業者提案の点検	事業者提案による	○	—
水質管理業務			
法定外検査	通年(定期)	○	—
処理工程管理	事業者提案による	○	—
修繕業務			
計画修繕	通年(定期)	○	—
計画外修繕(整備範囲)	適宜	○	—
計画外修繕(整備範囲外)	適宜	○(限度額内)	○(限度額外)
膜交換及び膜洗浄業務	事業者提案による	○	—
消耗品調達管理業務	適宜	○	—
薬品調達管理業務	適宜	○	—
電力調達管理業務	毎日	○	—
熱水燃料等の調達管理業務	事業者提案による	○	—
発生土管理及び処分業務	適宜	○	—
見学者対応業務	適宜	○(説明等)	○(受付)
植栽管理及び清掃業務			
植栽管理	事業者提案による	○	—
既設管理棟清掃(事業者管理範囲)	事業者提案による	○	—
既設管理棟清掃(共用部・市管理範囲)	事業者提案による	○	—
その他場内施設清掃	事業者提案による	○	—
池等清掃業務			
事業者業務範囲	事業者提案による	○	—
その他池清掃(事業者範囲外)	不定期	—	○
保安業務	毎日	○	—
災害、事故及び緊急時対応業務	発生時	○	△※2

※1 上下水道局庁舎は本市の管理施設であるが、自家用電気工作物点検は業務範囲とする

※2 業務範囲を超える部分は本市範囲とする